

1 運営の基本方針

公益財団法人として、科学技術の振興と地域特性を生かした科学教育の普及、生涯学習の振興に寄与するため、「体験型の科学館」として市民に親しまれ、「また来ました」と言っていただける愛される施設の運営を推進していく。

2 事業内容

(1) 自然科学情報資料の収集及び調査研究に関する事業並びに科学技術に対する正しい理解と認識の定着を図るための事業

① 各種プログラムによる参加型体験学習

科学実験教室やフィールドワーク等の各種プログラムを実施し、利用者が体験を通して自然現象や科学技術を実感を伴って学ぶことができるプログラムを提供する。

名 称	内 容
サイエンスステージ	身の回りにある科学現象などの実演ショーを通して、科学に対する興味を喚起する参加型プログラム ◇ サイエンスショー ◇ 映像プログラム
科学実験教室	観察や実験を行うことにより、科学の不思議な現象を身近に感じ、科学の楽しさを味わうことのできるプログラム
工作教室	遊び感覚でものづくりを行う活動を通して、ものづくりの楽しさや科学技術の原理・現象の面白さを体験できるプログラム
フィールドワーク	里山やピオトープなどの屋外施設を活用した自然観察等の体験型プログラム
フライトアカデミー	飛行機の基本的な操縦知識や技術を学んだり、体験したりすることができる本格的飛行・操縦体験

② 常設展示による体験学習

昆虫をテーマとした体験型展示の維持・管理を行う。新鮮さや魅力の向上を図るために生態展示を季節ごとに変えたり、自然科学に対する興味を高めるため、見て触れて体験できる先端科学技術の展示を配置したりしていく。また、展示室内の昆虫に関する学習ができるクイズを3段階の難易度別に用意し、希望により実施できるようにする。

- ◇ なぜだろランドにおける生体展示（セイヨウミツバチ、カイコ、水生昆虫）
- ◇ いきものコーナーにおける世界のカブトムシ・クワガタムシの生体展示
- ◇ 再生可能エネルギーコーナーにおいて再生可能エネルギーの仕組みや現状について展示物やタブレットを活用して学ぶ

③ 企画展

名 称	内 容	期間・期日
世界のカブトムシ ・クワガタムシ展	世界各国に生息する人気のあるカブトムシやクワガタムシの成虫（約50種類）の展示。	平成30年7月14日 ～平成30年8月26日
ムシテック写真コンテスト	虫の写真を募集、表彰、展示し、虫への興味・関心を高める	平成30年7月14日 ～平成30年8月26日
ムシテック昆虫GO ペーパークラフトの世界	ペーパークラフト作家鍋嶋通弘氏の作品を展示するとともに、作品に関するクイズを行う。	平成30年12月1日 ～平成31年1月14日
かがくのえほん展	科学にまつわる絵本を展示するとともに絵本に関する工作や実験などを行う。	平成31年1月22日 ～平成31年3月31日

④ 特別事業

スマイルキッズ inムシテックワールド	青年会議所との共催によるイベント	平成30年5月27日
教員のための博物館の日 （助成事業）	貸出教材への理解を広めるとともに科学の楽しさを体感できるイベント	平成30年7月30日
サイエンスフェスタ2018 （助成事業）	地域の企業・団体等の協力による科学体験イベント。	平成30年8月26日
ムシテック祭り	ムシテックワールド創立記念イベント	平成30年11月17日 ～平成30年11月18日

⑤ 特別講座

名 称	内 容	期間・期日
養老館長特別講座①	昆虫採集教室	平成30年7月7日 ～平成30年7月8日
特別サイエンスショー①	外部講師による特別サイエンスショー	平成30年7月28日 ～平成30年7月29日
特別サイエンスショー②	外部講師による特別サイエンスショー	平成30年8月18日 ～平成30年8月19日
養老館長特別講座②	昆虫採集教室	平成30年9月29日 ～平成30年9月30日
ペーパークラフト・ジオラマ講座	ペーパークラフト作家鍋嶋通弘氏の指導によるペーパークラフトの作成。	平成30年12月1日 ～平成30年12月2日

(2) 生物、文化、環境、科学等に関わる教育普及に関する事業

① 学校等と連携した活動

名 称	内 容
出前講座・出前授業	公民館などの諸施設や学校に赴き、サイエンスショーや実験・工作、授業などを実施する。
教材の貸し出し事業	発展的な学習内容の観察・実験を手軽に実践できるように、学校や公民館へ観察・実験等に必要な器具等の貸し出しを行う。 ※ 県内の教職員を対象に「『貸出教材』の紹介及びその使用法 講習会」（教員のための博物館の日）を実施する。「貸出教材」とその活用法を周知し、授業の中で積極的に活用してもらうとともに、科学の楽しさを体験してもらう機会とする。
県及び岩瀬地区小学校理科作品展の開催（共催）	岩瀬地区小学校教育研究会理科部会と共催で岩瀬地区小学校理科作品展を開催するとともに、福島県小学校教育研究会理科部会の協力を得て県内の優秀な理科自由研究作品の展示も行う。 ※ 優秀な作品には「館長賞」を贈呈し、優秀作品発表会を行う。

② 地元企業や関係機関等との連携事業

名 称	内 容
spff（ふくしまサイエンスがらっとフォーム）との連携事業	当館でプログラムを実施していただいたり、spffサイエンス屋台村やspff連携機関の企画に出演したりして、実験や工作などを通して科学に対する興味・関心を喚起する。
各種連携事業	県内だけでなく、広く県外の文化施設や研究機関、団体、企業などと連携してプログラムを実施したり、事業推進のための情報交換や交流を図ったりしていく。
地域交流事業	市のイベントである「子どもの祭典」に出演する。地域の民間企業、団体、高校などと連携して「サイエンスフェスタ」を開催する。

(3) 施設の利用及び啓発宣伝に関する事業

① 広報媒体等によるプログラム案内・活動内容紹介

名 称	内 容	時期
市広報	市発行の情報誌「広報すかがわ」へプログラムやイベントの情報等を提供する。	毎月
県内メディア	市内・県内向け新聞（マメタイムス、あぶくま時報、福島民報、福島民友）へイベントや活動内容の紹介記事の掲載を依頼する。各放送局にもチラシを送付することで、取材の機会を多く作る。 ※ 特別サイエンスショーなどのイベントの際には、担当者がポスターを新聞各社に持ち込み、新聞各紙に直接掲載を依頼する。	随時

県内教育機関	市内の全小・中学校に「学校利用の手引き」を配付するとともに主に中通り地区の小学校へ「プログラムチラシ」を配付する。 市内すべての幼稚園・保育所には、リーフレットと「幼稚園・保育所利用の手引き」を配付し、より一層の周知を図る。 ※ 夏季および冬季休業期間中のプログラムチラシについては、県内すべての幼稚園・小学校に配付している。	定期
県内外公共施設等	「道の駅」やその各種公共施設などに「リーフレット」と「プログラムチラシ」を配付し、配架を依頼する。また、ムシテック祭り等の特別イベントの際には、市内および近隣市町村のコンビニ等にも広報ポスターの掲示を依頼する。	定期 随時
旅行誌・タウン誌等	旅行誌・タウン誌等へ施設の利用案内等の情報を提供する。	随時

② ホームページ等によるプログラム案内・活動内容紹介

名 称	内 容	時期
ムシテックワールドホームページ	ムシテックワールドの利用案内およびプログラム内容やイベント予定等を計画的に更新し、随時紹介する。	通年
ムシテックワールドブログ	ムシテックワールドのプログラムの実施状況を実施当日に更新し、実施状況を紹介する。	通年

(4) その他目的を達成するために必要な事業

① プログラムや運営方法の改善とボランティアの資質向上

名 称	内 容
プログラム開発推進委員会	利用が急増している幼稚園の職員と一般市民、報道機関の方々を委員に加えた委員会を組織して、「科学教育の普及」の核となるプログラムの改善・充実と普及を図る。
ボランティア研修	プログラムの実務体験等を通して科学に対する知識・理解や実験・工作の技能を高め、ボランティアの資質向上を図るとともに、講師として講座を実施する。

② 研修協力事業

名 称	内 容
職業体験の受け入れ	中学生や高校生が職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする職業体験の受け入れを行う。
社会体験研修などの受け入れ	フォローアップ研修や経験者研修、博物館実習など、接客のサービスなどを体験する職場実習の受け入れを行う。